

2023年12月18日

大阪広域水道企業団 企業長 様  
大阪広域水道企業団議会 議長 様

大阪広域水道企業団議会議員  
朝田 充

## 大阪広域水道企業団議会の運営改善を求める要望書

水道事業を通じて府民福祉の向上を目指す日々の取り組みに心より敬意を表します。  
先だって、当水道企業団議会の 11 月定例会において発言（質問）いたしました、現在の「討論及び質問」の取り決めについて、合理性があるとはいえない部分があり、議会での活発な議論を保障するために以下の議会運営改善（議員発言への対応改善）を求めるものです。

### 記

1. 「質疑、質問時間」について、「原則として、1 人 15 分以内（答弁時間を除く）」という取り決めになっていますが、これでは上程議案等が多い場合、それぞれの議案について質問しようとしても「1 人 15 分以内」というトータルな縛りとなっているため、それぞれの議案あるいは一般質問について十分な質問ができないということになってしまいます。発言時間の制限を設けている議会では、予算（補正予算）質問では 1 議員につき〇〇分など、それぞれの議案に対して制限時間を設けているケースがほとんどではないかと考えます。よって当企業団議会においても「1 議案につき 1 人 15 分以内」などの運用の改善を図るべきです。当該改善による「（議会の）時間が足りなくなるのではないか」という心配は、「質問、討論を行う議員が多数の場合は、答弁時間を除いた質問、討論の時間を 2 時間以内となるよう議員間で調整する」という「その他」の取り決めがあるため無用であると主張します。
2. 現在、定例会でしか認めていない一般質問を毎議会ごとに保障すべきです。現在コロナ禍に物価高騰が襲うという情勢であります、コロナ対応等に限らずこれから、機敏な問題提起や議論の必要性というものがますます高まる中で、当該制限はやはり「時代に合わない」と考えます。

以 上